

逆転時計

経営学部 准教授 石川 順章

私の通っていた小学校の図書室では、昼休みにディズニー映画が上映されており、いつも数十人が集まっていました。当然、昼休みの時間では1つの作品を完結させるには足りないため、数日間通う必要がありました。

しかし、小学生の昼休みは忙しいのです。1軍男子に言われれば、校庭でサッカーもしなくてははいけません。『同時に2か所にいられるわけ無いだろ?』

そこで、今でいう見逃し配信のような役割を果たしたのが、映画の原作となった小説などの本でした。図書室での映画上映は「本」に誘導する仕組みだったのです。成功率の高い作戦には思えませんが（負け惜しみ）。

ちなみに、本学の図書館にも視聴覚ブースがあり、ハリー・ポッターも見られます。また、図書館が購入する作品を学生がリクエストすることもできます。

さて、原作を読んで驚いたのが、映画と内容が大きく違うことでした。

「活字」には表現などの制約が大きいに感じられますが、「映像」の制約もまた大きく、映画化の際は良くも悪くも改変されます。そのへんをうまくやるのが「大人の仕事」ですが、ときに悲しい結果（アンチ）をもたらすのです。

皆さんも、大人になった今、かつて見た映像作品の原作を読んでみてはいかがでしょうか。そこには、また違った世界が広がっています。

ハリポッターシリーズの書籍・DVDを所蔵しています
書籍の請求記号は 933/Ro です
DVDは館内でご覧ください



本学図書館における社会体験学習

11月13日より5日間、本学図書館において『宇都宮市社会体験学習(宮っ子チャレンジウィーク)』として宇都宮市立清原中学校2年生5名を受け入れました。

生徒たちは、カウンター作業のほかに書籍の配架や電動書庫の整理、清掃作業などさまざまな業務を行いました。



「図書館長講話」では、坪井真先生より「将来にわたって『関心』と『疑問』を持つことが大切である。この二つを持ち続ければどんな分野の勉強も進めることができる。」というお話をいただきました。

生徒たちは蔵書の中から「おススメ本」を選びPOPを作成しました。



～本学図書館では、地域に開かれた図書館を目指して、折に触れ社会体験学習を受け入れています～

開館カレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

午前9:00～午後6:00

午前9:00～午後1:30

休館日